

<商い担い手育成塾>

『町内フィールド研修・第一弾 発信手法を探る!』

今年度の「商い塾」は3か月単位で、課題を深めています。10月からは集落活動センターからの報告で学んだ地域の現状を踏まえ、「町内の観光スポットを体感し、町外からの誘客を考えよう」をテーマとしました。講師は再度、塾生の信頼が厚い高知新聞経営企画室の森本裕文さんをお願いしました。

フィールド研修は、塾生からの希望もあり、場所を”松原”としました。10月14日、塾生4人と森本さんが、松原まろうと会・下元廣幸会長の案内で、久保谷セラピーロードや八百とどろなどを回りました。

講師からの指示は、各自で写真を撮り、感想（各地のメモ）を提出すること。

＝ 塾生の感想 ＝

○雲の上の温泉 尾崎 彩

私は観光に携わる仕事をしていますが、久保谷セラピーロードは訪れた事がなく、お客様に聞かれた際、うまく説明できないといった事が多々ありました。そのため、今回の研修でそのポイントをつかみたいと思っていました。

山や川、自然には親しみがあるのですが、久保谷川の透明度と淵の青さには感動しました。アユが石コケを食べている様子まではっきりと見ることができます。写真に残したいところばかりで何枚もとったのですが、先頭を歩く下元さんにさす光の筋が後光の様に映り込み、森の妖精のようでした。



△セラピーロードを散策する塾生達

○雲の上の温泉 中越 理恵

<八百とどろ>

残念ながら時期が違うので、コデマリに似たトサシモツケ（バラ科、四国原産）はみられませんでしたが、川に下りてみて断崖にびっくり！ここは梶原町なの？町内の川の様子とは全然違う気配です。アユが上っていくとは、信じられません。

<シェ・ムワ>

あいの里で昼食をとり、シェ・ムワさんで美味しいパンとコーヒーを頂きました。ここまで距離はありますが、遠く愛媛県やお隣の四万十町からもお客様は来てくれるそうです。また、結構一人の方がいくつも買って行くと聞きました。きっと美味しいだけではないのでしょう。

11月の講座では、収集した情報と写真を元に、塾生が発信手段や内容を論議します。情報発信には費用が必要ですが、コストのかからない発信は新聞・テレビなどに取り上げて貰うこと。コロナ禍でも森のパン屋さんは減収になっていないそうです。「ちょうど雑誌に店が載って、遠く松山から・・・」と聞きました。

森本講師からの最終課題は、「（媒体に）取材を依頼する文章の書き方」になる予定です。なお、年明けからはフィールドワークの第二弾”民宿展開”を想定しています。

<森づくり担い手育成塾>

『ツリークライミング(ロープ技術)研修がスタート!』

9月の塾だよりで「樹木医の仕事・新たな事業展開を学ぶ」と題して紹介したHARD WOOD株式会社が、10月25日に太郎川公園で、ツリークライミングの研修会を開いてくれました。弱った木々の診断と治療に当たる樹木医さんが立ち上げた新会社は、ロープを使って木に登るツリークライミング技術を使って剪定等の樹木の治療を各地で展開し、また、ロープ技術は子供たちを集めた楽しい木登り体験イベントにも活用され、人気を博しているそうです。

今回も、代表の森広志さんと女性樹木医の片岡日出美さんが来場してくれました。講師が直接指導する研修会は計3回で、ロープを使った身体の確保や作業手順、またイベント展開の手法を学びます。

初回の研修には、町内の若手林業従事者に加えて、4人の塾生が参加。また見学者もあって、賑やかなスタートを切りました。



△ツリークライミングの面白さを体感!



△お互いに教え合って、技術向上!

春には、町内の林業・建設事業体と町が一体となって「梶原令和の森林づくり協議会（ReMORI＝愛称：りもり）」が結成されました。そして秋口には、各事業体の後継者（塾生OBなど）が若手グループ（CoMORI＝仮愛称：こもり）を立ち上げ、活動の一環として裏山などの「危険木除去」を担うことになりました。先月には初めての活動を仲久保で実施し、依頼した老夫婦を喜ばせています。

今回の研修は、将来、こうした町内貢献に一役買うはずで、塾生も可能な限り参加していくことにしています。次回は11月22日に開講・参加予定です。

（塾長：笹岡）

梶原町耐震補助金について

令和 2年11月19日

地震はいつどこで発生するか分かりません。地震の揺れで、もし家が倒壊したとき下敷きになるのは、自分や大切な人かもしれません。家の中で命を落とすことがないように備え、助けられる人より助ける人になりましょう！

耐震診断

申込者負担 **3,000円**

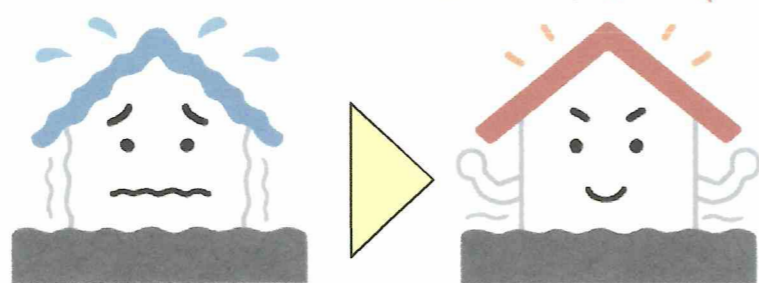
木造住宅耐震診断士による耐震診断を行い、住宅の弱い箇所や耐震性を把握し、説明を行います。



耐震設計

最大30万円まで**9割補助** 例：設計費30万円の場合、自己負担は3万円

診断の結果、耐震性が低かった場合、設計士が必要なところを重点的に補強する改修工事の方法、どれくらいの工事費用になるか設計書を作成し、説明を行います。



耐震改修工事

最大120万円まで**9割補助** 例：工事費120万円の場合、自己負担は12万円

耐震改修が必要な木造住宅について、工事費の一部を補助します。

住宅のリフォーム・バリアフリーを検討されている方は、耐震改修も一緒にぜひご検討ください。まずは一度総務課総務危機管理係（TEL：0889-65-1111）までご相談ください！

※この補助事業は昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅が対象です。

町民の皆様

高知県交通安全協会須崎支部
支部長 植田 邦夫
梶原分会長 長谷部 悟

交通安全協会須崎支部 優良運転者表彰について

交通安全協会須崎支部では、自動二輪車及び自動車の優良運転の表彰対象者を募集しております。

☆表彰の資格☆

自動二輪車又は普通自動車以上の運転免許をお持ちで、7年以上無事故・無違反で交通安全協会に加入している方。

上記資格をお持ちの方で、推薦を希望される方は役場総務課(総務危機管理係)、又はお近くの梶原町交通安全町民会議理事までお知らせください。

申込み締め切り：令和3年2月15日（月）

各地区の交通安全町民会議理事

【越知面区】	梶原 哲哉（下本村）	沖田 純輔（田野々）
【四万川区】	長谷部 悟（富永）	山中 照亞（六丁）
【東 区】	西森 建基（梶原）	伊藤 一博（梶原）
	西森 峰雄（梶原）	
【西 区】	上川 涉（宮野々）	中越 靖（下西の川）
【初瀬区】	河野 純雄（初瀬本村）	石川 昇（上折渡）
【松原区】	田辺 美枝（中平）	吉村 文伸（松原）

【問合せ先】

梶原町役場総務課 総務危機管理係
担当：大町・那須（電話65-1111）

栲原町津野山神楽保存会、川上寿久氏に聞く

おネ神楽と来た道



◎日時：令和2年12月13日（日）14時～15時

◎会場：雲の上の図書館交流スペース

◎講師：川上寿久氏 聞き手：大村太一郎（雲の上の図書館）

観覧無料

戦時中に一時途絶えた伝統の津野山神楽。資料を研究し復興するまでの苦労や、現在まで受け継いで来た栲原の人々の努力。人気を博し、フランスやアメリカ公演にまで至った経緯などをインタビュー形式で川上寿久氏に伺います。後半は映像を見ながら、舞や演奏のコツ、鑑賞ポイントを解説していただきます。この機会にぜひ津野山神楽の魅力に触れてください。

入館時には手指の消毒、マスクの着用をお願いいたします。
また、体調がすぐれない方は観覧をご遠慮いただきますよう、お願いいたします。

対策実施中



お問い合わせ：0889-65-1900（雲の上の図書館）